送付案内

2024年3月13日

宛　先

草加八潮医師会　加藤　　様

送付者　公益財団法人　埼玉県健康づくり事業団

業務調整部　営業企画課　課長　内村　浩

〒355-0133　埼玉県比企郡吉見町江和井４１０－１

ＴＥＬ：０４９３－８１-６０２９

ＦＡＸ：０４９３－８１－６７４９

E-mail: uchimura@saitama-kenkou.or.jp

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

下記のとおり送付させていただきますので、ご査収のほどよろしくお願い申し上げます。

敬　具

ＭＥＭＯ

Ｘ線画像読影システムの不正アクセスに係る調査結果について

いつも大変お世話になります。

遅くなりましたが、標記の件につきましてＦＡＸさせていただきます。

ご査収のほどよろしくお願い申し上げます。

令和６年３月１３日

関係者各位

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団
理事長　金　井　忠　男

Ｘ線画像読影システムへの不正アクセス攻撃に係る調査結果について

本事案（令和６年１月３１日発表）につきましては、１月２９日（月）に発覚後、２月３日（土）に当事業団において、埼玉県警、システム会社立会いのもと、専門の調査会社が侵入経路や個人情報の漏洩などに関する調査（フォレンジック調査）を開始しました。

その後、追加調査を含めて約１か月の調査を行い、３月９日（土）に当事業団に報告書が提出されましたので、その概要を下記のとおり報告させていただきます。

併せて、３月１５日（金）１３時に調査結果の概要を別添のとおり報道発表（県政記者クラブへの資料提供）する予定でございますので、その資料を送付させていただきます（３月１５日（金）１３時までは「部外秘」でお願いいたします）。

今回の不正アクセス攻撃を厳粛に受け止め、再発防止に向けたセキュリティ対策の強化に取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

１　侵入経路

インターネットに接続しているＶＰＮを経由して、１月２７日(土)１６時２４分にＸ線画像読影システムの偵察活動に成功。

翌２８日(日)１８時３６分に不正侵入、１８時４１分に探索活動、その後防御回避等を行い、サイバー攻撃を実行した。

２　個人情報の漏洩の有無

個人情報については、データの窃取と漏洩の痕跡は確認されなかった。

＜Ｘ線画像読影システムに保存されていた個人情報＞

Ｘ線画像（胸部、胃部、乳部）及び超音波画像（腹部、乳部）と画像に付帯する情報（氏名、年齢、生年月日、性別、検査日、ID、撮影番号、問診、過去の所見と判定、今回の所見と判定）、モアレ検査画像（画像に付帯する情報は学校名、撮影番号）約１００万人分

３　個人あての通知について

個人情報の窃取と漏洩が確認されなかったことから、個人あて通知は行わないこととします（個人情報保護委員会へも同様に報告します）。

4 感染台数

サイバー攻撃の被害を受けた機器はＸ線画像読影システムに関係する１０台（サーバ８台、端末２台）※現在、ネットワークから切断しています。

5 今後の対応

現在、Ｘ線画像読影システムを使用しない方法で事業を継続しています。Ｘ線画像の読影については、読影医が当事業団に来所していただく頻度を増やすことで、従前どおりの期間内で検診結果を提出させていただきます。

併せて、旧システムのバックアップデータ（暗号化はされなかった）を速やかに移行し、新たなＸ線画像読影システムを構築しています。新たなＸ線画像読影システムは、多要素認証等の堅牢なセキュリティ対策を講じ、令和６年１２月までに稼働予定です。

【本件に関するお問合せ】
公益財団法人埼玉県健康づくり事業団
健康管理部健康管理課　小笠原、中村
TEL：０４９３－８１－６０８９

資　料　提　供
令和６年３月１５日 公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 担　当：健康管理課　小笠原、中村 ＴＥＬ：０４９３－８１－６０８９

Ｘ線画像読影システムへの不正アクセス攻撃について（第２報）

本事案（令和６年１月３１日資料提供）につきましては、１月２９日（月）に発覚後、２月３日（土）に当事業団において、埼玉県警、システム会社立会いのもと、専門の調査会社が侵入経路や個人情報の漏洩の有無などに関する調査（フォレンジック調査）を開始しました。

その後、追加調査を含めて約１か月の調査を行い、３月９日（土）に当事業団に報告書が提出されましたので、その概要を下記のとおり報告させていただきます。

今回の不正アクセス攻撃を厳粛に受け止め、再発防止に向けたセキュリティ対策の強化に取り組んでまいります。

記

１　侵入経路

インターネットに接続しているＶＰＮを経由して、１月２７日(土)１６時２４分にＸ線画像読影システムの偵察活動に成功。

翌２８日(日)１８時３６分に不正侵入、１８時４１分に探索活動、その後防御回避等を行い、サイバー攻撃を実行した。

２　個人情報漏洩の有無

個人情報については、データの窃取と漏洩の痕跡は確認されなかった。

＜Ｘ線画像読影システムに保存されていた個人情報＞

Ｘ線画像（胸部、胃部、乳部）及び超音波画像（腹部、乳部）と画像に付帯する情報（氏名、年齢、生年月日、性別、検査日、ID、撮影番号、問診、過去の所見と判定、今回の所見と判定）、モアレ検査画像（画像に付帯する情報は学校名、撮影番号）約１００万人分

３　感染台数

サイバー攻撃の被害を受けた機器はＸ線画像読影システムに関係する１０台（サーバ８台、端末２台）※現在、ネットワークから切断しています。

４　今後の対応

現在、Ｘ線画像読影システムを使用しない方法で事業を継続しています。Ｘ線画像の読影については、読影医が当事業団に来所していただく頻度を増やすことで、従前どおりの期間内で検診結果を提出します。

併せて、旧システムのバックアップデータ（暗号化はされなかった）を速やかに移行し、新たなＸ線画像読影システムを構築しています。新たなＸ線画像読影システムは多要素認証等の堅牢なセキュリティ対策を講じ、令和６年１２月までに復旧予定です。